

MSPO ニュースレター2024年5月15日

医療安全によるウェルビーイング(良好状態)の向上

Wellbeing With Healthcare Safety

酒井亮二

国際医療安全推進機構(MSPO)理事長

国際医療リスクマネジメント学会(IARMM)理事長

最近、世界の医療安全の大問題としてその主たる対象が身体的損傷であることに気が付きました。医療事故・ミスの問題は身体的損傷以外に患者・家族・関係医療者における精神的障害も多々指摘されている。

WHO では健康(Health)は身体的ウェルビーイング、精神的ウェルビーイングそして社会的ウェルビーイングの3つの構成要素からなるとしています。つまり、真の医療安全活動とは身体的ウェルビーイング、精神的ウェルビーイングそして社会的ウェルビーイングを対象にすることが必要です。

Wellbeing With Healthcare Safety (医療安全によるウェルビーイング(良好状態)の向上)を普及するために、国内では医療安全基礎講座(<http://www.iarmm.org/J/BASIC2024/>)において話題を紹介します。

世界では25年5月パリの第12回臨床安全世界会議(<http://www.iarmm.org/12WCCS/>)の主要テーマとしました。人権意識など世界に冠たる社会思想の宝庫であるフランスでの医療界には Wellbeing という課題に対して世界的人材の歴史が脈々と生き続き、英米とは異なる大変充実した成果を得られます。